

平成30年度研究のまとめ

蒲郡東部小学校研究推進部

1 研究実績

本校では平成29年度まで、『豊かな心をもつ とがみっ子を育む～主体的・対話的な学びを通した算数科の授業づくり～』を研究主題に掲げ、算数科の授業づくりを通して、論理的な思考・判断ができる子、思いや考えを表現できる子を育てることを重点目標とし、算数科の授業に取り組んできた。これまでの実践から、子どもたちが自分の考えをもち、新たな問いをもつことができるようになってきた。その成果として、自分の思いや考えを伝えることや友だちの考えを自分の学びに生かすことよきや楽しさに気づき始めてきている。そこで本年度は、副主題「自分の思いや考えを伝え合うコミュニケーションを図る資質や能力の育成」を重点に、外国語(活動)の授業を中心とした研究実践を進めてきた。

研究構成として、「低学年」「中学年」「高学年」「特別支援」の4部会に分け、各部会が研究主題を具現化した「目指す子ども像(意欲)(技能)(思考力)」および「手だて」を明確化した。各部会で外国語(活動)の授業実践を通して『豊かな心をもつ とがみっ子』を育もうと、全学級で授業を公開し、多くの先生方よりご指導をいただいた。

本年度における各部会での取り組みや授業実践からの研究成果を、研究紀要第43集『豊かな心をもつ とがみっ子を育む』～自分の思いや考えを伝え合うコミュニケーションを図る資質や能力の育成～ にまとめた。

2 研究成果

研究主題を主軸に、研究推進委員会での協議や環境部会による環境整備をもとに全4部会全学級における授業研究が実践できた。そこで、研究の手だてⅠ「単元構想の工夫」から、子どもの「話してみたい」思いが単元終了後の「伝わってよかった」という個々の達成感へと繋がってきた。また、手だてⅡ「教材・教具の工夫」では、日常生活に密着した会話場面を学年相応の内容として教材化したことにより、「伝わりやすい」会話場面を子どもたちが実感し、4つのコミュニケーションポイント(smile/ eye contact/ clear voice/ reaction)を体感するようになってきている。さらに、手だてⅢ「授業展開の工夫」により、テンポのある授業展開が実現され、自分の思いを英語で表現し、伝え合おうとする子どもたちの笑顔が各教室内外で増えてきている。その結果、自分の考えを発表し合い、友だちと思いや考えを通い合わせ、互いの見方・考え方を広げたり深めたりできる子どもの姿に出会うことができたと言える。今後も研究主題にあるめざす子ども像にせまるよう、さらなる実践を継続深化させていきたい。

3 おわりに

本年度、『豊かな心をもつ とがみっ子を育む』～自分の思いや考えを伝え合うコミュニケーション能力の育成～を研究テーマとし、研究実践に取り組んできた。

平成32年度から本格的に実施される5,6年の「英語科」、3,4年の「外国語活動」のスタートを前に、本年度より研究教科を算数から外国語活動中心に変更した。研究を推進するにあたっては、一年目としてまだまだ手さぐりの状態ながら、すべての学年で、国際理解、外国語活動の授業研究を行い、研究を進めることができた。また、研究協議会では、互いに忌憚なく意見をぶつけ合い、授業技術を切磋琢磨することができた。

今年度の成果として外国語活動において、自分の考えや思いを言葉や動作など使って友達に伝える活動を通して、外国語を学ぶことを楽しみ、子どものコミュニケーション能力を高めるための素地を養うことができた。来年度は、研究2年目として、各学年の単元構想を工夫しつつ、蒲郡東部小の財産となるような内容を考えていきたい。

末筆になりましたが、授業研究等で単元構想の段階からご指導いただいた外国語指導主事の先生や指導員の先生、またさまざまな場面で本校職員を支えていただきました方々に心より感謝申し上げます。

